

授 業 概 要

(こども保育科)

授業タイトル（科目名） こどもの保健		授業の種類 （ 講義 ・演習・実習）		授業担当者	当該科目に関する実務経験
				河村 和代	保育士
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（2 単位）	配当学年・時期 2 年・前期		必修・選択 必修	
〔授業の目的・ねらい〕 - 子どもの心身両面の健康増進を図ることの意義を理解し、子どもの身体発育や生理機能の特性・発達、子どもの健康状態と、その把握、疾病とその予防・対応等、保育における保健的対応に必要な基礎的事項を学習する。 〔授業の全体の概要〕 - 子どもの心身の健康と保健の意義、子どもの身体発育、子どもの疾病とその予防及び適切な対応等専門知識に基づいた保育実践に要する知識を習得する。 〔授業終了時の達成課題（到着目標）〕 - 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 - 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 - 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 - こどもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。					
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 - 子どもの保健を学ぶ - 身体の成長 - 子どもの発達 - 子どもの栄養 - 生活と健康 - 子どもの事故とその予防 - 遺伝と健康 - 子どもの症候 - 感染症 - 予防接種 - 免疫・アレルギーと健康 - 子どもの重要な病気 - 子どもの心と健康 - 地域との関わり - 期末試験					
〔使用テキスト〕 こどもの保健 改訂第3版（渡辺博 編著／中山書店） 〔参考文献〕 こどもの保健演習 改訂第2版（大西文子 編集／中山書店）					
〔成績評価の方法と基準〕 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					